

第1回琴浦町小学校適正規模・配置審議会 会議概要

日 時 平成20年3月26日 午後2時から

場 所 まなびタウンとうはく 4階 研修室

1 開 会

2 教育委員長あいさつ

今回諮問申し上げる内容についての提言が色々な会からなされています。広く色々な立場から2年間という期間の中でご審議いただき、これからの教育行政上の参考としたいと考えています。また当面する町の学校教育に関する方向性というものを考えていく指針にしたいと考えています。適正規模と言いますと箱物の議論になりがちですが、広い立場から今後の色々な学校教育上の内容に関する意見に関しても、審議の中から出てくればありがたいと思っております。

3 自己紹介

4 会長・副会長選出

○会長に油野利博委員、副会長に山下旭委員を選出

○油野会長挨拶 皆さんの忌憚りの無い意見をいただきながらこの会の進行と最終答申をまとめて行きたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

○山下副会長挨拶 会長を助けながら会の進行にがんばりたいと思っております。大変な時期ですが皆様のご理解を得て所期の目的を達成するように努力したいと思っております。

5 諮 問

○要綱第2条により教育委員長から審議会長に諮問

○審議会長 諮問いただきました内容については誠意を持って慎重に審議させていただきます。

6 協 議

○要綱第6条により会長が審議会を進行

(1) 経過報告

①琴浦町まちづくり委員会及び琴浦町行政改革審議会さらに琴浦町議会行財政改革調査特別委員会の提言等を受け、琴浦町小学校適正規模・配置審議会要綱を定めこの審議会を立ち上げた。

②小学校等の現状について

○今後の児童数の推移、各学校の建築年度等の資料により説明。

③今後の審議会の予定

○ 年 5～6 回程度審議会を開催予定。

○ 平成 21 年 7 月頃に中間報告(地域懇談会、パブリックコメント)

○ 平成 21 年 11 月頃に最終答申

(2) 協議

【経過報告について】

○ 子どもの数が減ることが分かりながらなぜ 8 校の改築を行ったのか、その経過について聞かせてほしい。

○ これまで、学校自体が各地域の拠点として重要な役割を持っていたので、なかなか統合ということができなかったという経過がある。

【審議会委員の立場について】

○ 小学校 PTA 代表としてこの場によられたと思うが、PTA 代表としての意見ではなく、どうしても個人としての意見となってしまうが、それでどうか。

○ 最終的な統廃合などについては議会の議決になると思う。私も中学校区の代表として参加しているので、PTA の意見を聞いて出てこようとは思いますが、審議会の委員であるので個人の意見として話せばよいと思う。

○ PTA の代表として出ているので PTA の総意として意見を述べたい。事前に資料を頂ければ役員会で協議するなど PTA の意見を拾い上げて審議会に出席することもできる。

○ 諮問機関であるので個人としての意見で十分でないか。

○ そのあたりについてはその方の見識に基づいて発言いただければよいと思う。

○ 以前旧町で、PTA 代表の中から PTA から反対の意見が出ているので賛成できないということで話が止まってしまったことがある。団体から代表として選出されたのではなく町から指名されているので個人の意見で十分でないか。地域ではなく町全体として考えていく必要がある。

○ 誠意を持って一つの方向性を求めて行きたい。意見を広くいただきながら慎重審議に努めて行きたいと考えている。町民の皆さんにご理解していただかな

いと後に禍根を残すことになる。そういう意味では、広く意見をききながら、委員皆さんの、ものの考え方でご発言いただきたい。

【情報提供について】

- 審議会の内容等について一回一回保護者の方へ伝わっていくのかどうか、情報公開をどのように進めていかれるのか。
- 平成 21 年の 7 月には中間取りまとめで、パブリックコメント及び地域懇談会の実施を計画しているので、ここで地域の方々の意見をいただくことができると思うが、それまでの内容について各地域・学校の PTA の方々に情報が伝わるかということだと思うが事務局での計画はどうか。
- 審議会がどういった方向で、どういった内容のことを審議しているかについては明らかにしていく必要があると考えています。審議会ごとの内容について、概要的なものをまとめながらホームページ等に掲載していきたいと考えています。また委員の皆さん方にも概要等について早め早めに送付して行きたいと思いますが、平成 21 年の 7 月には中間取りまとめ、その結果地域懇談会を開催し、11 月に向け整理していきたいと考えています。また、ある程度まとまった段階で町報等にも掲載していく予定です。

【審議内容の方向について】

- 最初に結論ありき、適正規模、統廃合という方向に向かって、どういう規模で統廃合するのかということによろしいか。
- 児童が減少する中で、子供たちの将来を見据えた適正規模での配置のあり方、そういうことも含めて審議していく。
- 一番大切なことは、町の子供たちにとって活力ある小学校教育というものが、これから先の色々な社会情勢なども考えながら進めていくときに、どのようにあるのがいいのか、ただ人数を議論するだけにとどまってほしくない。人数減少といった情勢のなかで、小学校教育の中の様々な課題解決についても審議してほしい。
- 審議の観点を包括し、将来を見据えた活力ある小学校教育のあり方について意見を聞きたいということでありました。その結果から諮問の 3 点に集約されるのではないかと予測はされますが、あくまでもそれに向けた審議会ではないということです。

【学校規模による子どもの状況について】

- 小規模校の児童が、中学校に行ったときにコミュニケーションがうまく行え

ず、不登校になりがちになっているというのも人数の関係もあるのかと思う。

- 近隣の町村の先進事例を聞くのも良いのでは。
- 大規模校のデメリットもあるのでは。小規模校だからといってデメリットばかりではないと思う。大規模校のメリット、デメリット、子どもの様子についても知りたい。
- 個人差もあり、どちらが良いか言う事は難しい。小さな集団の中から大きな集団の中には入って解き放なされ、自由に友達づくりが出来る生徒もいる。

(3) その他

- 次回2回目の日程は5月中旬頃、各学校を訪問するといった内容でよいか。

7 その他 特になし

8 閉会 会長閉会挨拶 教育長閉会挨拶